

1月給食だより

新年あけましておめでとうございます。今年度も、残すところあと3か月となりました。引き続き、毎日の給食時間が待ち遠しくなるような、給食作りに努めていきたいと思ひます。本年もよろしくお願い致します。

1月24日～30日は、全国学校給食週間です！

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現：鶴岡市）の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA（アジア救済公認団体）」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。



学校給食の移り変わりを見てみよう！

明治22年	戦後（昭和20～30年代）	現在
私立忠愛小学校で提供されたとき給食。	支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。	地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。

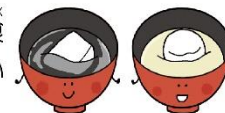


受け継ごう 日本の食文化

地域や家庭に伝わる行事食を知ってつくり、食べたりしましょう。



年中行事には、昔から食べ継がれている特別な食べ物があひ、それを行事食といひます。行事食は、もともとは神仏に供えて、その後、供え物を下げていただくもの（直会）でした。行事食を食べて1年を健康にすごしましひう。



おせち料理のいわれ

正月に食べるおせち料理には、健康や長寿などの祈りが込められています。

数の子 数の子は、にしの卵です。卵が多いことから、子孫繁栄の願いが込められています。	田づくり 田んぼにこいわたしの肥料をまいたことから、由つくりと呼ばれ、豊作の願いがあります。
黒豆 まめは、まめに働き（勤勉）、まめに生きる（健康）という願いがあります。	たたきごぼう ごぼうは、根が地中深くに入ることや豊年や息災の願いが込められています。
こぶ巻き 昔は「ひろめ」と呼ばれ祝儀に用いられ、また、「喜ぶ」の言葉にかけた縁起物です。	えび えびのように、腰が曲がるまで長生きできるようにとの願いが込められています。
きんとん きんとん（金団）には、財宝などの意味があります。金運への願いが込められています。	伊達巻き 巻物に似た形から文化、学問、教養を持つことを願ったといわれています。

行事食、伝統食、郷土に伝わる料理を給食のメニューに入れて紹介しています。季節や伝統や地域の食習慣等の継承につなげればと考えています。